

# 税と生活の関係 学ぶ

会青年部会室  
法入会青年部会  
見初小で教

## 「使い道、しっかり見て」

見初小(藤田康伸校長)で14日、租税教室が開かれた。6年生17人が宇部法人会青年部会(篠田義仁部会長)の会員による講話を聞き、税金の種類や使われ方、大切さを学んだ。



篠崎副部会長の話を傾ける子どもたち(見初小で)

見初小(藤田康伸校長)で14日、租税教室が開かれた。6年生17人が宇部法人会青年部会(篠田義仁部会長)の会員による講話を聞き、税金の種類や使われ方、大切さを学んだ。

## 身体と薬など気になる話題

西宇部地区成人学級の第2回講座が14日、西宇部ふれあいセンター2階の世代交流ホールで開かれた。山口東京理科大学の武藤純平准教授(薬学部薬学科・分析科学分野)が「身体、健康、社会とくすり」をテーマに講演し、地域住民39人が熱心に耳を傾けた。

西宇部地区成人学級の第2回講座が14日、西宇部ふれあいセンター2階の世代交流ホールで開かれた。山口東京理科大学の武藤純平准教授(薬学部薬学科・分析科学分野)が「身体、健康、社会とくすり」をテーマに講演し、地域住民39人が熱心に耳を傾けた。

武藤准教授は「足のこむら返りについて説明。運動時の疲労や大量の発汗による脱水が原因で起こるとし、症状が出たら水分に加えスポーツドリンクなど、電解質を含む飲み物の摂取をアドバイスした。



講演を聞く参加者(西宇部ふれあいセンターで)

と、自動車税などの地方税の違いを学んだり、税金で建てられた施設と違をしっかりと見ておくことも大切」とまとめた。岩村歩夢君は「税金にはいろいろな種類があることが分かった。将来はしっかり働いてきちんと納税し、国や県、市を成り立たせたい」と話した。(日高)

## 休業手当ない労働者支援

### 国のコロナ対応給付金受け付けを開始

新型コロナウイルスの影響で休業させられた中小企業の労働者のうち、休業中に賃金(休業手当)を受けられなかった人に対し、国から「新型コロナウイルス感染症対応休業支援金・給付金」が支給される。10日から郵送による受け付けがスタートした。オンライン申請も準備中。

申請書は厚生労働省のホームページからダウンロード可能。問い合わせは、同支援金・給付金コールセンター(フリーダイヤル0120-20221-276)へ。受け付けは午前8時半から、平日は午後8時、土日・祝日は午後5時15分まで。(松原)

## 自社株購入権の内容発表

### 宇部興産

宇部興産(東原雅人社長)は13日、ストックオプション(自社株購入権)の発行内容を発表した。新株予約権の総数は419個で、1個当たりの振込金額は14万8000円。対象者は役員25人。

6月に開催した取締役会では未確定だった。割当では取締役4人に対して計113個、執行役員21人には306個。

## 東岐波と阿知須 230戸1時間停電

### 変圧器に不良箇所

14日午後4時4分から約1時間、東岐波前田から山口市阿知須河内までの住宅など約230戸が停電した。中国電力ネットワーク宇部ネットワークセンターによると、数分間は東岐波地区と阿知須全域約2700戸でも発生した。変圧器に不良箇所があったためという。



若宮古墳群で作業をする役員(東岐波郷土誌研究会提供)

## 史跡巡り コロナ禍でも準備万端

### 東岐波郷土誌研究会 6カ所で清掃活動

市の委託を受けて毎年、キワ・ラ・ビーチの海開き前に実施。同じ手付近の「若宮古墳群」「一月崎古墳群」、王子地区の「聖山等塔婆」など6カ所で、3グループに分かれて草刈りや立ち木の整理をした。午前8時から作業を始め、約3時間汗を流した。森会長は「今年はコロナの影響で海開きをしないので、近くの若宮古墳群を訪れる人が少ないかもしれないが、例年通りきれいにしておく」と話した。(若槻)

管内	累計	増減	山口県内	累計	増減
人身事故	3件	(192件-17件)	18件	(1400件-347件)	
死者	0人	(1人±0人)	0人	(18人±0人)	
負傷者	4人	(233人-28人)	20人	(1671人-497人)	